

外来診療担当医師

内科

	月	火	水	木	金	土
午前	東出	東出	東出	佐藤 (漢方外来)	垣内 (消化器病外来)	宮地 (第1週目)
	川人 (糖尿病外来)	垣内	福山 (循環器病外来)	川人 (糖尿病外来)	宮地	川人 (第2週目)
	伊林 (漢方外来)	田原	木村 (消化器病外来)	多羅澤	河本	木村 (第3週目)
午後	宮地	川人 (アレルギー・ リウマチ外来)	伊林 (漢方外来)	垣内 (胃腸・嚥下障害 外来)	福山 (循環器病外来)	田原 (第5週目)
			河本			

精神科

	月	火	水	木	金	土
午前	片村	片村	片村	片村 (物忘れ外来)	片村	休診
午後	片村	休診	片村	片村	片村	

※10月1日より赤字部分を変更しております。

診察受付時間

平日 午前 9:00~12:00
午後 13:30~17:00
土曜日 9:00~12:00

休診日

日曜・祝日・年末年始

診療科目

内科・精神科・老年内科・
消化器内科・循環器内科
呼吸器内科・放射線診断科・
リハビリテーション科
漢方外来

※基本的には予約制となっておりますが、予約なしでの診察も可能です。その際、お待ちいただく場合がありますのでご了承ください。

※伊林の漢方外来のみ、完全予約制となっております。事前に内科外来までお問い合わせください。

※精神科外来の初診の方は、あらかじめお電話にてお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせはこちらまで
TEL:(011)561-8292

慈啓会シャトルバス停留所

円山地区シャトルバス時刻表

土曜日は⑤便までの運行となります

区	分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
病院発	8:00	8:50	10:10	11:30	13:00	14:30	16:00	18:00	
特養職員玄関前→老健		～経由～							
JRバス慈啓会前バス停横	↓	8:52	10:12	11:32	13:02	14:32	16:02	↓	
旭ヶ丘3丁目	↓	8:53	10:13	11:33	13:03	14:33	16:03	↓	
双子山郵便局前	↓	8:54	10:14	11:34	13:04	14:34	16:04	↓	
西友旭ヶ丘店 (西友駅前)	↓	8:55	10:15	11:35	13:05	14:35	16:05	↓	
円山公園駅前	8:10	9:01	10:21	11:41	13:11	14:41	16:11	18:08	
南3条西24丁目	↓	9:02	10:22	11:42	13:12	14:42	16:12	↓	
南5条西24丁目	↓	9:03	10:23	11:43	13:13	14:43	16:13	↓	
南7条西24丁目	8:12	9:04	10:24	11:44	13:14	14:44	16:14	↓	
ラルズ前	↓	9:05	10:25	11:45	13:15	14:45	16:15	↓	
啓明ターミナル前	↓	9:08	10:28	11:48	13:18	14:48	16:18	↓	
病院着	8:20	9:13	10:33	11:53	13:23	14:53	16:23	18:20	

山鼻地区シャトルバス時刻表

土曜日はA便・B便のみの運行となります

区	分	A	B	C
病院発	9:30	10:50	13:40	
特養職員玄関前→老健		～経由～		
啓明ターミナル前	9:32	10:52	13:42	
南15条西18丁目 (ラーメン屋前)	9:33	10:53	13:43	
南17条西17丁目 (スーパー前)	9:34	10:54	13:44	
南20条西15丁目	9:35	10:55	13:45	
タイヤ館前	9:36	10:56	13:46	
南26条西13丁目	9:37	10:57	13:47	
レフサス藻岩前	9:38	10:58	13:48	
南警察署前	9:39	10:59	13:49	
北海学園大学 土	9:40	11:00	13:50	
南23条西11丁目 (ドコモショップ前)	9:41	11:01	13:51	
南21条西11丁目 (北洋銀行前)	9:42	11:02	13:52	



主に運行しているマイクロバスです

※日曜・祝日は運休しております。
※道路状況及び雪害等で遅れる場合があります。

あさひが丘

No. 58

A S A H I G A O K A



ご挨拶

事務長 鈴木 俊彦

慈啓会病院の事務長の鈴木俊彦と申します。今年4月の人事異動で、慈啓会老人保健施設から着任しました。病院勤務は初めてですが、ご利用者の皆様やご家族の方々がさらに安心、快適に病院をご利用になれるよう、縁の下の力持ちとなるべく猛勉強中です。

趣味は歴史物の読書、道内・外への旅行、日々の適量の飲酒などです。

この春には山陽や近畿地方の城を巡ってきました。中でも、兵庫県朝来市の天空の城「竹田城」は圧巻でした。標高約350mの山の頂上に築かれた城ですが、現在は中腹まで専用バスで行くことができます。そこから徒歩で20分ほど山道を登るのですが、不摂生の身には堪えました。城跡に到着し、満開の桜の花越しに里の風景を眺めた時、この城を巡り何百年もの間戦ってきた人々を想い凛とした気持ちに包まれました。

帰路につき、登り口付近で新たな一団とすれ違い、驚きました。高齢の女性の車椅子を初老の

男性が押して登っているのです。途中で簡易舗装ですが、上のほうは一人ずつ登るのがやっとです。ご本人が望まれたのか、ご家族がお誘いしたのか、生半可な気持ちでは取れない行動です。強い気持ちで臨めば、年齢や健康状態は行動の妨げにはならないことに改めて気づきました。

札幌慈啓会はこの旭ヶ丘の地を選び、「札幌養老院」を開設し、福祉や医療に取り組んで来年は90年を迎えます。当院もその附属病院として昭和23年に設置されました。以来、「地域社会に根ざし一人ひとりの心の支えとなる良質な医療を提供する」ことを理念に掲げ、実践してまいりました。これからも、さらに地域に貢献できるよう私も一員として病院運営に携わってまいります。



竹田城からの眺め



新しい内視鏡システムによる胃・食道・大腸検査のご案内

—より速く正確な診断ができるようになりました—

副院長(内科) 垣内 英樹

当院では以前より内視鏡検査による消化管(胃・食道・大腸)検査を行っていましたが、本年より新しい電子内視鏡システム「LUCERA ELITE」(オリンパス社製)を導入いたしました。これにより、今まで以上に速く正確な診断が可能となり、検査を受けられる方にもメリットが大きくなりました。

新しい内視鏡システムには、いくつかのこれまでになかった特徴があります。それらのうちで最も画期的なものはNBI(Narrow Band Imaging:狭帯域光観察)という方式です。これは、今まで内視鏡観察に使用していた白色光ではなく、415nmと540nmの2つの波長の光を観察に用いています。これにより、今までは光散乱により見えなかった、粘膜下の血管像や、粘膜の微細な構造が観察できるようになりました。これにより内視鏡観察と病理(顕微鏡での観察)の間で診断の一致率は90%以上となり、見るだけで正確な診断が可能となりました(より正確な診断のため、今まで同様病理検査を行う場合があります)。

特に食道病変はこれまでの白色光観察は不要でNBI観察のみで早期がん発見が可能となっています。その診断能力は革命的であり、この内視鏡技術によって既に消化器病の診断方法が変化してきています。私も実際に検査した例で、大腸ポリープ2個の観察で、1個は過形成ポリープ(大きくなるポリープ)、1個は腺腫性ポリープ(大きくなる可能性があり内視鏡治療が必要なもの)を診断でき、適切な治療ができました。

大腸がんは増加傾向にあり、胃がんも依然としてがんによる死亡の第2位と多いのが実情です。このような中、新しい内視鏡システムは患者・医師ともに安心して治療法を選択できる大変優れたものです。消化管のがん検診として、新しいシステムによる内視鏡検査をお勧めします。



新人紹介

~医療相談室からこんにちは!~

精神保健福祉士
かゆかわ ちひろ
粥川 千紘

初めまして。本年6月より医療相談室にて精神保健福祉士として勤務する粥川と申します。主に認知症病棟での相談業務やもの忘れ外来の受診相談などを担当しております。

現在、当院には認知症の検査・診断と目的とする「もの忘れ外来」を予約制で毎週木曜日に行っております。ものの名前が出てこない、直前に言った内容をすぐ忘れてしまう、同じ話ばかりを繰り返すようになったなど、「もしかして認知症?」と気になる症状が1つでもありましたら、もの忘れ外来で専門的な検査を行い、その症状が認知症によるものかを判断することができます。検査希望される際、お電話にて対応致しますので、お気軽にご相談ください。

まだ慣れない業務を覚えるだけで精一杯の毎日であり、至らぬ点は多々ありますが、少しでも患者様やご家族様に寄り添い、お一人お一人のお力になれればと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



認知症の方の世界ってどんな感じ?

看護師 認知症ケア上級専門士 新井田ひとみ

「認知症だから何もわからない」の間違い

認知症とは 「忘れてしまうことにより、周囲の状況や自分が居る場所などをうまく認識・判断出来ず、様々な物事を行うことができなくなる病気です」

その為、当たり前前のが出来なくなるため、周囲や家族の人は「何もわかっていない」と決め付けがちです。しかし、認知症の症状に最初に気付くのは本人です。私達でも「あれ、ここに何をしにきたんだっけ?」と思う体験をされることがあるはず。大抵あとで思い出すことが多いのですが、もし思い出すことが出来ず、そのような状況が頻繁に起こったらどうでしょうか?認知症の方達はこのような状況が日常に頻繁に起こっているのです。認知症の方達は何もわからないのではなく、誰よりも一番不安な、苦しい、悲しいのも本人なのです。



楽しいといった感情はいつも感じています。いつも出来ていた事が出来なくなったつらさや不安、覚えのない事で叱られた嫌な気持ち、自分らしさを発揮できた嬉しさを生き生きと感じる心、そしてそれまでの人生を生きてきた誇りは持ち続けます。

実は相手が何を思っているかお見通し! 聞こえていても反応がないからと、本人を目の前にして困っている事などを周囲の人に話したりしていませんか?

認知症の方は表現さえ難しくなっている、その雰囲気や感情を読み取る能力はあまり低下しないそうです。目の不自由な方や耳の不自由な方がそれをカバーするために残されている感覚が健常者よりも優れていることがあります。認知症の方も言葉が理解出来ず、周囲との意思疎通が困難な部分をカバーするために感情面のアンテナが研ぎ澄まされ、相手の好悪の感情に敏感に反応する事があります。そして、相手に良く思われていない事を不満に感じ、相手が興奮していることに興奮し、そんな自分に混乱してさらに興奮してしまうという悪循環を招きかねません。認知症の方が不安や嫌悪を感じるのには実は周囲の人の感情を鏡に写し取り、感じているせいかもしれません。認知症の方も健常者と同じようにものを見て、感じて思っています。認知症の方の心に添ったケアを心がけることが大切ですね。

認知症のことで「お困り」のことはありませんか?

当院には「認知症専門病棟」や「もの忘れ外来」がございます。

また、日常で認知症の方を介護されているご家族様や、入院されている患者様のご家族様にも個別性に合わせたご説明をさせていただいております。認知症ケア専門士など専門スタッフによるご相談もお受けしております。なお、外来は予約制です。あらかじめ医療相談員までお問い合わせください。

担当【医療相談室】 TEL: (011)561-8292



患者様ご家族様へお渡ししたパンフレットの例

病棟スタッフに対する勉強会の様子

認知症に関して病院職員も良いケアが出来るように学習を深めております。

認知症ケア専門士制度とは?

一般財団法人日本認知症ケア学会認定の資格で、認知症ケアに対する優れた学識と高度の技能、及び倫理観を備えた認知症ケア専門技術の向上ならびに保健・福祉に貢献することを目的として認定された資格。受験には資格を問わず、次の各項の条件を満たさなければならない。

1. 認知症ケアに関連する施設、団体、機関等において試験実施年から過去10年間に於いて3年以上の認知症ケアの実務経験(教育・研究・診療を含む)を有する者
2. 認定委員会の専門士認定試験および審査に合格すること

現在、道内には認知症ケア専門士は2000名ほど、上級専門士は10数名おります。当法人全体では各施設・病院に認知症ケア専門士、当院にも認知症ケア上級専門士が1名おり、患者様・ご家族様の認知症ケアに関する説明責任を踏まえ、地域に貢献できる活動を目指しております。